

子ども委員会ニュース

川崎市子ども権利条例
調査研究委員会
事務局
TEL: 200-3273

第5回子ども委員会の報告

私たちの中間まとめ!!

先日、5月8日(土)午後1時から川崎市生涯学習プラザで行われました。最初から、みんな真剣でいつもとは違う雰囲気が始まりました。(参加した子ども委員13名)

条例を作る時に何を指したいのか。

子どもの権利条例についての意見をまとめよう！
『わたしたちの願いと提案』や『子どもの意見まとめ』、『私たちの感想』などを見ながら、私たちの目指す条例について考えました。また、その条例をつくるにあたって大切なことも話し合いました。



ホワイトボードに書いた内容!!

- 子ども自身が権利を持っていることを知ってほしい。
→ 条例を作っていることを知ってもらうために講習会を開く。
- 罰則、改善プログラム
侵害した側が考える機会。
- 成績で評価しないで。
→ 個性... 子どもと大人で認め合う
子ども同士で認め合う
- 生きることは権利。(義務)
- 「大きいんだから」、「小さいんだから」と大人の都合で決めないで。
→ 大人の都合でふりまわされてる。
- 見かけで判断しないで。信用してほしい。
- 外国人だから不利な扱いはダメ
- 大人の働き方、生き方を変えて。
→ 働きすぎて、子どもを振り返れない。
- 障害者 etc. 社会的不利な人の権利
- ゴミ・街灯 ⇒ 地域の環境
- 遊ぶ場・スポーツできる場がほしい
- 法律を決めるときに子どもの意見を聞いてほしい
- 施設・学校にも子どもの意見を。
- 子どもが安心して行ける学校
→ 呼びかける場があれば...

以上が
**「私たちが大切だと
思うこと」**です。



私たちが実際に話し合った内容!!

- 子ども自身が、権利を持っていることを自覚してほしい。(高2)
 - 罰則というか、権利侵害をしまったときの改善プログラム。(中3)
例えば、話し合いや、権利についての講習会などの侵害した側が考える機会をもつ。
 - 罰則とかは裁判所などがやってくれるからつけなくて良いと思う。また、講習会などは、ほとんど意味がないのでは。(高2)
 - 侵害された側の親が何かする。裁判所で判断するので罰則はいらない。
- 親がいじめてる場合は?
- 子どもが悪いことしたら、親、先生が叱るのは、当たり前。
 - 障害者、外国人などの方々の権利は絶対に保障する。(高2)
 - 個性をつぶされないで生きたい。(高1)
 - 子ども同士で権利を守り合い、子どもも、大人の権利を守る!! (高2)
 - 大人の都合で決めないで、本当に嫌。(小6)

- 権利を自覚しても、悪い方に使う。
- 権利を乱用しない。例えば、親とのケンカで「私にはこんな権利があるんだから!!」と使う。(高1)
- 権利を乱用してしまうのは、今まで権利を持ったことかないからだよね。(高2)
- 道徳で、もっと権利の勉強しようよ。先生や親が自覚して、もっと教育してほしい。(高2)
- 小学校では道徳、やる学校、やらない学校で半分ずつくらい。(小6)
- 子どもと大人がもっと仲良くして、一緒のレベルで見合う。
- あってないような条例にならないように。



子どもに権利を与えたら、わがままになるか?

私たちの出した意見を例に考えてみました。

▶ 見かけで判断しない!!

- 「それはわがままだ!!」と言われたら...
- 内面で良い所を見てください。
 - 個性を持っている子をつぶす、てことですか。
 - 自分がもし、見かけで判断されたらどう思いますか。私たちの立場になって考えてみてください。

▶ 遊び場がほしい!!

- 「それはわがままだ!!」と言われたら...
- 確かに、子ども自身遊び方が悪いかも。ゲームなどをやりすぎ。
 - 最近、がき大将的存在がなくなってきたない?
 - 子どもの声がうるさい!と言って、大人に子どもの遊び場をうばわれる。
 - 公園に行くと、中・高生がいてこわい。
 - 大人だってわがまま。
 - 遊んでいい所で遊んでいるのに、大人がこわくて、隠れながら遊んでいる。
 - 大人の存在が大きい。

「わがまま説」のまとめ

- 大人も子どもの立場になって考えてください。
- 大人が私たちからうばうから、私たちがほしいがる場合もあるのでは...。大人にしむけられた、ていうところもあると思います。

★「わがまま説」をなんとかするということは、ただ今 考え中です!! ★

◎ その他の意見 ◎

- 今の子どもって、結局いそがしすぎるよね。時間がない。
- でも、それで時間の使い方が「何なんだ」と思う。
- 土地問題などで子どもの遊び場をとられてしまう。